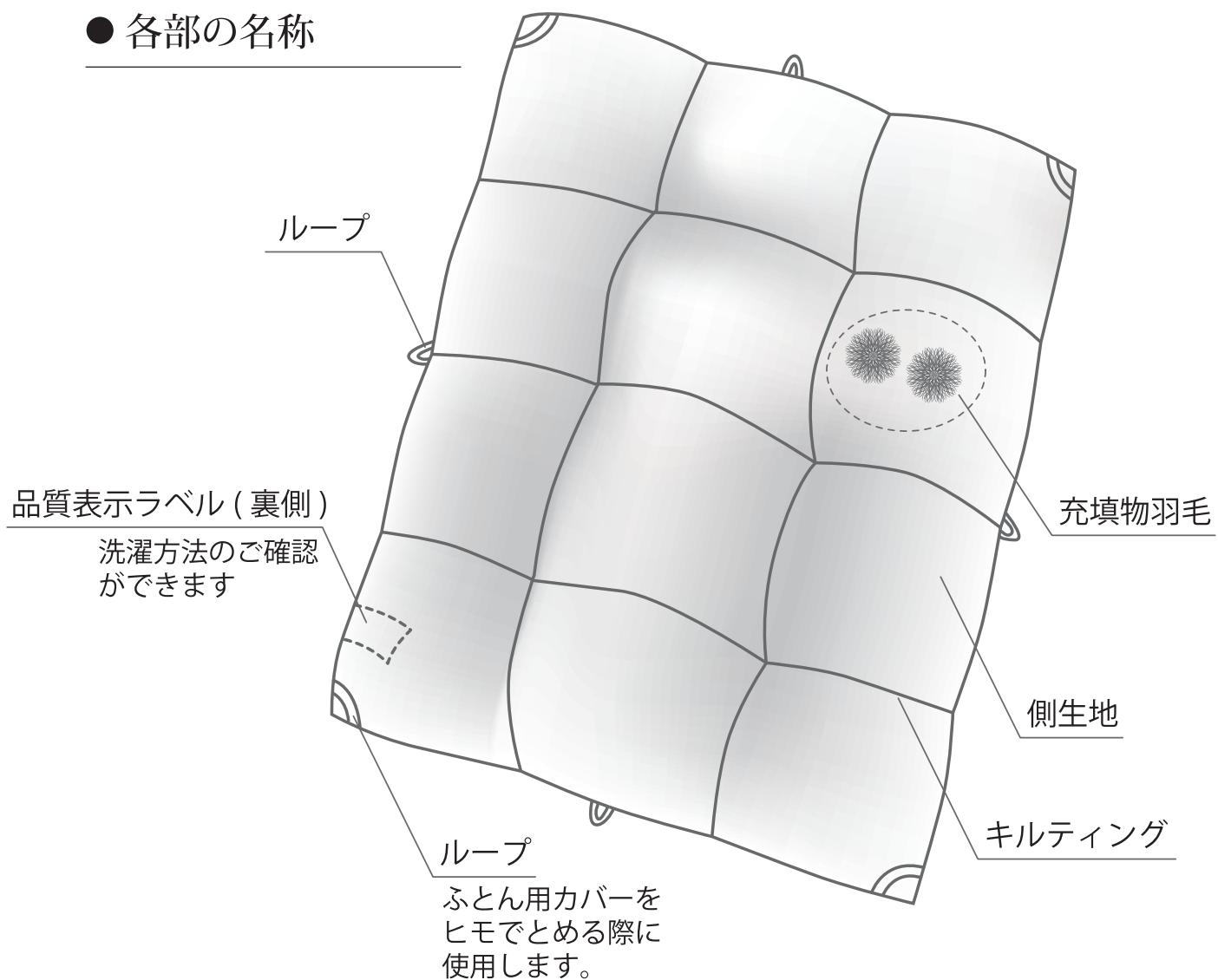


## ● 天然羽毛の特性について

羽毛ふとんは吸湿発散性に優れた性質を持っています。  
そのためご購入直後や長期収納後において、  
極端に湿気を吸収し、天然羽毛特有の臭いがこもる場合がございます。  
品質、安全性において問題はございませんが、  
気になる場合は以下の方法をお試しください。

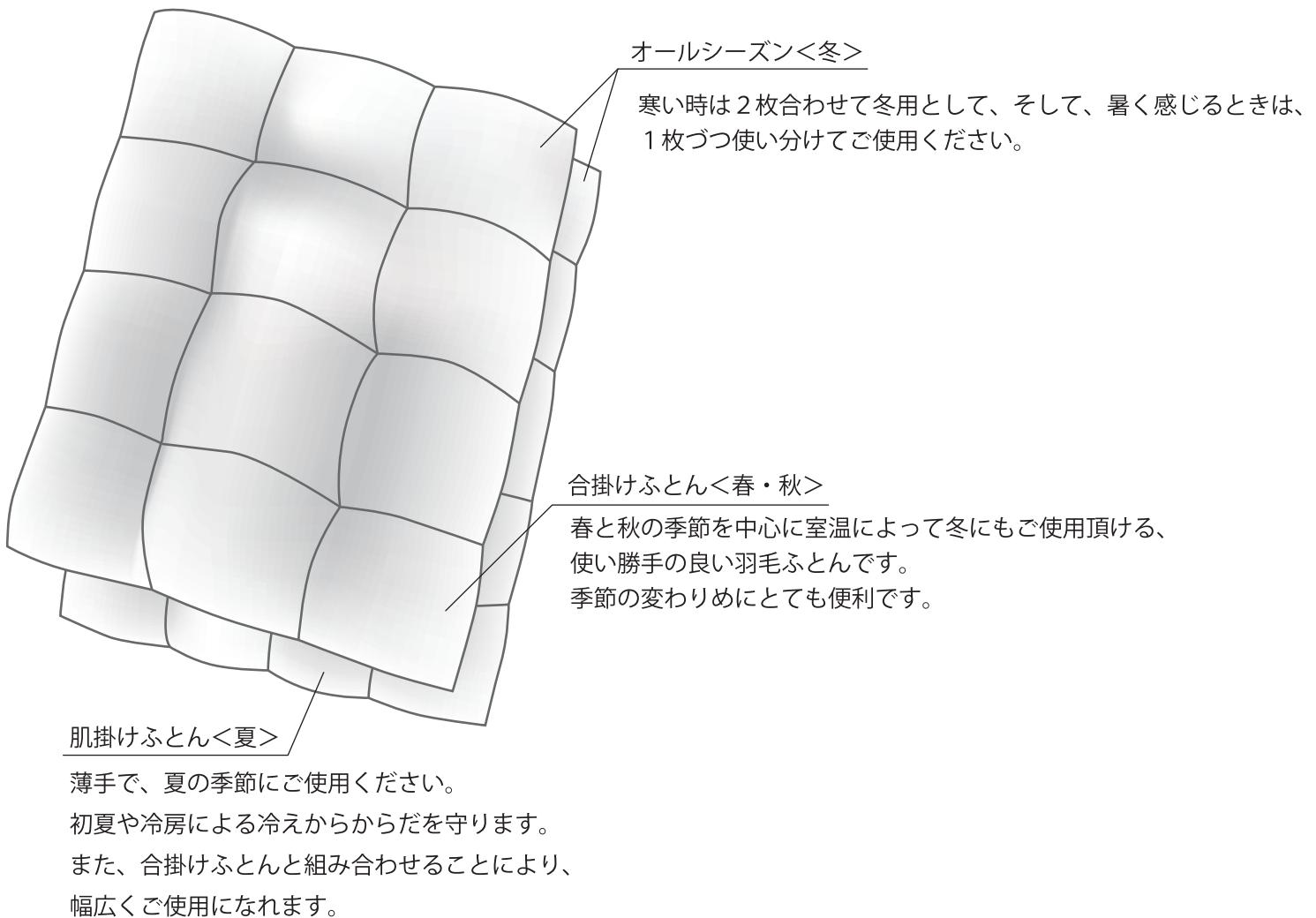
- ① ふとんを折りたたんで湿気を押し出します。
- ② 新しい空気と入れ替えるため3~4時間程度、  
天日に干してからご使用ください。

## ● 各部の名称



## ● 季節による羽毛ふとんの使い分け方（2枚合せタイプのご説明）

---



## ● ウォッシャブルマークについて

---

Washable



品質表示ラベルにこのマークがついている肌掛けふとんは、ご家庭で  
お洗濯いただけます。

## ● 表示について



記載されている内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れのあることを示します。



この記号は禁止の行為であることを告げています。  
(～してはいけません。)



この記号は行為を強制したり、指示する内容を告げています。

## ● 必ずお守りください



羽毛ふとんに(又は近くで)針やピン類を使わないでください。  
針穴(ピン穴)から充填物が飛び出す原因となります。



誤って破れたり、穴が開いた場合は、針や糸で縫わないでください。  
もし破れた場合は羽毛が飛び出さないように注意しながら、  
熱接着剤付き補修布などをアイロンで接着ください。  
大きく破れた場合はすぐに販売店にご相談ください。



敷いたり、クッションの様な使い方はしないでください。  
また、踏んだり投げたりしないでください。  
製品が損傷する原因になります。



羽毛ふとんのご使用中及び近くでの喫煙はお止めください。  
火災の原因等になる場合があります。



乳幼児がご使用する場合は、口元を塞がないように十分ご注意ください。  
羽毛掛けふとんの側生地は緻密な纖維を使用していますので、  
十分ご注意ください。



アレルギー体質の方で羽毛(鳥)などが体質に合わない場合は、  
医師と相談の上ご使用ください。



電気毛布及び電気加熱式寝具を併用される場合は、  
電気製品に付属する「取扱説明書」をご覧のうえご使用ください。  
寝具内が体温以上になると、脱水症状等になる場合があります。



ふとん側生地の傷みや汚れを防ぐため、カバーやシーツを  
掛けてお使いください。カバーやシーツはこまめに洗濯してください。

## ● お手入れのしかた



### 干し方／天日干しは月に1～2回程度が目安です。

湿気のこもった状態で使用を続けると、

羽毛のかさ高や弾力が低下する場合があります。

- ・ふとん側生地の傷みや汚れを防ぐため、カバーを掛けて干してください。
- ・全面が日に当たるように表裏をときどき反転させて干します。
- ・午前10時～午後3時ごろまでの間に、片面1時間程度が目安です。

※ふとんたたきなどで強く叩くと、<sup>がわ</sup>側生地や羽毛を傷める恐れがあります。

※絹、絹混の側生地は天日干しができません。陰干し、またはふとん乾燥機をご利用ください。



### 収納方法／羽毛は湿気を嫌います。

ふとんを干したあと、比較的湿気の少ないところで、

防虫剤を入れて保管してください。

本商品の収納ケースは通気性がありますのでファスナーを閉じて収納してください。

※湿気の多い環境下で長期間保管した場合「カビ」が発生する恐れがあります。

十分に乾燥させてからご収納ください。押し入れも乾燥させましょう。



### 洗濯・クリーニング

品質表示ラベルに「ウォッシャブルマーク」 <sup>40</sup> がついている

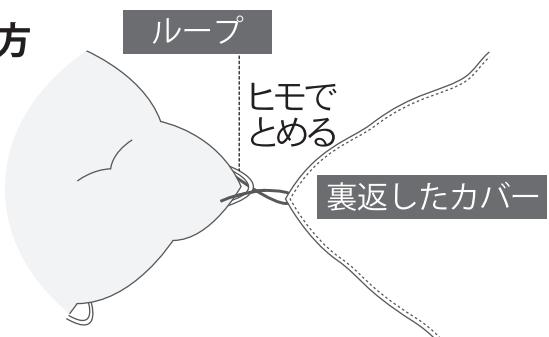
肌掛け羽毛ふとん以外の商品は、ご家庭での洗濯をお控えください。

クリーニング専門店に依頼する場合は、「品質表示」ラベルを明示ください。

※特に側生地が絹100%・絹混の商品は、水、石油等の湿潤により繊維が傷み、中身の羽毛が飛び出る恐れがあります。クリーニングは十分ご注意ください。

### 羽毛掛けふとん用カバー(別売)の取り付け方

羽毛ふとんの全てのループにカバーのヒモを通してご使用ください。



### 防虫(ダニ)について

側生地には高密度繊維を採用しているため、外部から生地内に虫(ダニ)が侵入することはできません。

## ● こんなときは

---

### Q1. ジュースや水をこぼしてしまった時は？

すぐに乾いた布などで拭き取り、  
羽毛が固まらないように乾燥させてください。  
汚れがひどい場合は、クリーニング専門店に  
「品質表示」ラベルを明示の上ご依頼ください。

### Q2. 羽毛ふとんの生地を誤って大きく破いてしまった時は？

羽毛が吹き出さないようにヒモ等で縛り、  
販売店にご連絡ください。有償にて修理いたします。  
近くに販売店がないなどの場合は、  
フランスベッドお客様相談室にご連絡ください。

### Q3. 羽毛ふとんの中から羽毛が飛びってきた時は？

元来、側生地は羽毛が飛び出しにくい生地を採用しておりますが、  
通気性確保のために極微細なすき間は避けられません。  
羽毛の飛び出しが微量の場合は品質上の影響はございません。  
羽毛が沢山飛び出す場合は、販売店にご連絡のうえ、  
アフターサービスのご相談をお願いいたします。  
(本商品はすべて側生地に3年間の保証がございます。  
保証書を参照ください)

### Q4. 制菌加工は洗っても効果は変わらない？

(一社) 繊維評価技術協議会では中わたの場合  
3回洗濯後に評価試験を行います。通常の使用で10年程度は  
目立った効果の薄れを感じることはありません。

---

## Q5. 羽毛ふとんはすべて水洗いして良いですか？

側生地が綿100%や絹100%、また絹混の場合、  
洗濯すると収縮やしわ、織り目のゆるみが発生することがあります。  
これらの側生地の場合は、クリーニング専門店にご相談ください。  
フランスベッドでは、ご家庭で水洗いできる商品に  
「ウォッシャブル」マークをつけています。

## Q6. どんな洗濯機でも洗えますか？

毛布対応型全自動洗濯機をご使用ください。  
洗濯機の種類により標準洗濯容量が異なります。  
必ずご使用の洗濯機の取扱説明書をご覧のうえ、ご利用ください。  
またご家庭で洗濯する際は、必ず洗濯機指定の  
「洗濯ネット」をご使用ください。

## Q7. ふとんの膨らみがなくなってきたのですが？

羽毛は過度の湿度により膨らみがなくなります。  
品質表示ラベルの取扱い方法に従い  
月に1～2回程度干してください。

品質表示ラベルに「ウォッシャブルマーク」が付いている商品が対象となります。

## ● ウォッシャブル肌掛け羽毛ふとんの洗い方

Washable 

このマークの肌掛け羽毛ふとんは、ご家庭でお洗濯いただけます。

上記マークがついていない場合は、「品質表示ラベル」に記載の「洗い方」をお確かめのうえ、クリーニング専門店にお問い合わせください。

羽毛ふとんの洗濯の目安は、3年に1回が目安です。

頻繁に洗濯しますと、<sup>がわ</sup>側生地や羽毛を傷めてしまう可能性があります。

下記の注意点を参考に洗濯ください。

(<sup>がわ</sup>側生地の汚れや、羽毛のかさ高の低下が見られない時は、洗濯の必要はありません。)

### ご家庭で洗濯する際の注意点

※夏期の晴天が2日以上つく日の洗濯をおすすめします。

※毛布対応型(大物洗い用)洗濯ネットをご用意ください。

※漂白剤をご使用の場合は、液体酸素系漂白剤を規定量ご使用ください。

※他の洗濯物との同時洗濯はお控えください。

※乾燥機の使用はお控えください。

※コインランドリーでの洗濯、乾燥はお避けください。(タンブラー乾燥は不可な為。)

※本書に記載以外の方法で洗濯した場合の事故につきましては、

保証の対象外とさせていただきます。

### ● 家庭用洗濯機(毛布対応型)の対応容量

シングルサイズ 約150×210cm	標準洗濯容量4.0kg以上のもの
-----------------------	------------------

ダブルサイズ 約190×210cm	標準洗濯容量5.0kg以上のもの
----------------------	------------------

クイーンサイズ 約220×210cm	標準洗濯容量6.0kg以上のもの
-----------------------	------------------

ご使用の洗濯機の取扱説明書にて対応の可否をご確認ください。

---

## ① ふとんカバーを取り外して本体を取り出します。

## ② ふとん表面についているゴミや糸くずを取り除きます。

- ・汚れの激しい箇所は、あらかじめ薄めた中性洗剤で部分洗いをしておきます。

## ③ 洗濯ネットにふとんを入れます。

長手方向を折り込みます。

- ・シングルサイズは4つ折り
- ・ダブル／クイーンサイズは5つ折り

洗濯ネットとほぼ同じ  
大きさになるように巻きます。

できるだけ凸凹が  
できないようにしましょう。

## ④ 洗濯機に入れます。

- ・お使いの洗濯機の「毛布洗い」または「大物洗い」コースにセットします。
- ・水位切り替えができる場合は「高水位」にセットします。

## ⑤ 洗濯機をスタートします。

- ・注水と同時にあらかじめ約5ℓの水に溶かしておいた中性洗剤を洗濯機に入れます。
- ・洗剤は洗濯用中性洗剤を使用し、規定量を守りよく溶かしてお使いください。

## ⑥ 洗剤をよくしみ込ませます。

- ・注水が完了したら「一時停止」ボタンを押し、ふとんを上から両手で押させて  
空気を抜きながら洗剤をよくしみ込ませます。  
※必ず洗濯機が停止した状態で行ってください。  
※ふとんが水に浮いた状態で洗濯すると側生地がわが損傷する恐れがありますので、必ず水中に入れてください。

## ⑦ ふたたび洗濯機をスタートし、脱水までしたら洗濯終了です。

### ● 干し方

- ・日当り、風通しが良いところで干します。二本の竿に渡して干すと、乾きが早くなります。
- ・午前9時～午後3時までをめどに、天日乾燥します。
- ・約1時間ごとに表／裏を反転させて均等に乾かしましょう。
- ・中身の羽毛が乾いてきたら、両手で両面からたたいたり、  
ふとんを振るなどして羽毛をほぐしましょう。
- ・側生地がわに比べ、中身の羽毛は乾燥に時間がかかります。あらかじめご注意ください。
- ・一日で乾かない場合は、翌日もう一度同様に乾かします。  
※夜間を利用する場合は、室内干しをおすすめいたします。